



過去の「地域のわ通信」はこちらをご覧ください。



日本語を母語としない子どものための「たんぽぽプロジェクト」

日本語を母語としない子どもの学習支援と居場所づくりを目指して活動している「たんぽぽプロジェクト（以下、たんぽぽ）」の活動が広がっています。

子育てと仕事を両立させ、「たんぽぽ」メンバーとして活動に参加している宮澤かおりさんに、新たな拠点ができたとの経緯と子育てしながら地域活動に関わるコツを聞きました。



2023年9月/10月

無料で！
FREE!

Let's study together!

日本語を母語としない小学生・中学生のみなさんへ

【Date】 Sep. 2sat, 30sat, Oct. 14sat, 28sat

【Time】 9:30am~12:00pm

【Place】 Rokkakubashi-area care plaza 3F
3-3-13 Rokkakubashi kanagawa-ku

【連絡先】 六角橋地域ケアプラザ ☎045-413-3281
学習教室グループ『たんぽぽ』
gakushuushien.tanpopo@gmail.com
横浜市国際交流協会登録団体
神奈川区区民活動支援センター登録団体

■ 支援の場があっても参加者が増えない・・・



神奈川区に住む「日本語を母語としない子どもたち」の数が年々増えています。

そんな子どもたちの学習支援と居場所づくりをしたいと2022年10月にスタートした「たんぽぽ」。運営するのは“外国につながる子どもたちの学習支援ボランティア養成講座”（神奈川県多文化共生の会が主催）を受講した仲間と地域のボランティアの11名です。

当初の拠点は六角橋中学コミュニティハウス。学習支援教室のスタート直後は、子どもたちが日本語の読み書き・宿題などをしに来ていましたが、続けていく

写真① ある日の「たんぽぽ」のメンバーと宮澤さん（写真右から2人目）
写真② やさしい日本語と英語を入れた「たんぽぽ」チラシ

うちに子どもたちが来なくなり、「たんぽぽ」メンバーだけの打ち合わせの場所になってしまった、と宮澤さんは言います。

また、拠点の近くには、他にも支援が必要な子どもたちがいても「たんぽぽ」の存在を知らず、参加者がなかなか増えない状況が続いていたそうです。拠点が六角橋中学校内にあることで、小学生が参加しづらいという課題もあったようです。

支援したい想いと参加者が増えないモヤモヤの狭間で、「たんぽぽ」のメンバーは参加者を増やす糸口を探し始めました。

■ 地域づくり大学校との出会い



このような状況の時、宮澤さんは「地域づくり大学校」（以下、地域大*）の存在を知りました。「たんぽぽ」立ち上げメンバーが地域大を受講していたことや、区役所が関わる講座なら活動の悩みを解決するヒントが見つかるかも」と、宮澤さんはメンバーを代表して、昨年度の地域大を受講しました。

地域大での学びや受講生同士の対話、さらに卒業後の活動を支援する地域ケアプラザのコーディネーターとの出会いで、「たんぽぽ」の悩み解決につながる新たな活動の一步を踏み出すことができました。

■ 異国で悩みや不安を抱える人の 拠り所になりたい



新たな拠点は六角橋地域ケアプラザ。7月・8月の特別プログラム「夏休みの宿題お助けプロジェクト」を皮切りに、今年の9月からは、学校が休みの土曜午前に定期開催がスタートしました。

ケアプラザと共催することで、地域住民や大学生のボランティアが支援に加わったり、参加者からの困りごとをケアプラザに直接つなげることができるようになったりと、活動の幅が広がりつつあります。

「たんぽぽ」が目指すのは、「学びの場であるとともに、日本語を母語としない子どもや保護者、そして地域の人が集う国境を越えた居場所になること」。

新たな拠点での活動は、まだ始まったばかりですが、異国で悩みや不安を抱える人たちの拠り所になるよう、これからも活動は続きます。

(*) 神奈川区地域づくり大学校
地域の新たなつながりを創り出す連続講座



「たんぽぽ内でのスタッフ同士の会話を通して、子どもたちに日本の文化や生活習慣を感じてもらえたら」と話す、代表の平井さん



子育て世代が感じた地域活動の魅力

20代半ばに海外経験のある宮澤さん。滞在先で受けた恩を日本で返したいとの思いが「たんぽぽプロジェクト」につながっています。ただ、子育て+家事+仕事をしながらの地域活動は大変そうと思われがち。宮澤さんは「月に2回、数時間程度なら自分の時間を活動にあてられることに気づきました。自分の生活スタイルを崩さず、隙間時間に得意分野で活動に関わらせていただいています」と、無理なく活動している様子です。また、地域活動の魅力については「多世代の人との関わりや子育ての先輩とのつながりから子育ての見通しがつき、気持ちが楽になりました」と言います。ただでさえ忙しい子育て世代。それでも「できることから」半歩でも地域に踏み出せたら、得られるものは大きいようです。



『たんぽぽプロジェクト』の概要

Chiikiryoku Up!

場 所	①六角橋中学校コミュニティハウス ②六角橋地域ケアプラザ
活動日	①不定期のイベント開催 ②月2回 土曜日 9:30~12:00
対 象	①② 日本語を母語としない小・中学生
参加費	無料
問合せ先	■「たんぽぽプロジェクト」 gakusyuuushien.tanpopo@gmail.com ■六角橋地域ケアプラザ TEL:045-413-3281